

支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『453・530（ヨゴサン・ゴミゼロ）キャンペーンin支笏湖』

- 【概要】 453（ヨゴサン）キャンペーンは、春の5月30日（ゴミゼロ）と秋の9月30日に、支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号のゴミ拾いを行います。早朝の支笏湖で綺麗な空気を吸いながらの清掃活動です。シーニックバイウェイ試行当初からの継続活動で15年目を迎えました。活動当初は、50名程の参加者であったのが、企業や団体等のボランティア参加が少しずつ増え、総勢150名を越える活動となり、年々活動に参加いただける団体や人数が増えていることから活動範囲を延長して3.0kmを実施しました。また、秋の清掃からは「秀逸な道」区間の清掃も併せて行いました。
- 【日時】 令和1年5月30日、9月27日 午前6時30分～7時30分
- 【場所】 （集合）千歳市支笏湖温泉街 支笏湖駐車場（バスターミナル）前
（実施場所）国道453号支笏湖温泉～苫小牧市丸山分岐
- 【主催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ
- 【協力】 支笏湖自治振興会・支笏湖旅館組合・支笏湖商工会・支笏湖高齢者クラブ・支笏湖恵岳会・支笏湖小学校PTCA自然公園財団支笏湖支部・千歳市・札幌開発建設部
- 【参加人数】 春：150名、秋：150名



支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『千歳ウエルカム花ロードver.17』

【概要】 年間約2000万人の乗降客を有する新千歳空港。北海道を訪れた方々を、小学生や地域の方々と一緒に植えた花の道で歓迎し、子ども達におもてなしの心を育もうと、シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルートで、毎年5月に千歳ウエルカム花ロードの活動を行っています。平成15年、千歳青年会議所の発案により「千歳エアポート花ロード36」がスタート。平成19年、国・道・自治体が連携した「千歳ウエルカム花ロード」と共同し活動を継続、今年度は17周年を迎えました。ベコニアやマリーゴールドなど 約33,000株を植栽し、総延長約8kmとなる花ロードが完成し、来道者のみならず、たくさんの方々の目を楽しませてくれました。

【日時】 花ロード特別授業（緑小学校、千歳小学校）※悪天候により中止
花植え：5月21日・22日 除草：7月3日、7月23日、9月4日

【場所】 千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）

【主催】 千歳ウエルカム花ロード実行委員会

【参加人数】 400名



クラウドファンディングに
チャレンジ！
目標達成率164%（30名・410,000円）
が集まり、花苗約4000株を増やすこ
とが出来ました。



支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『国立公園満喫プロジェクト展開事業：持続可能な観光・まちづくり』

- 【概要】 千歳市及び国立公園支笏湖運営協議会などに関わるメンバーにて実践してきた「支笏湖まちづくりビジョン（2004）」を元に、環境省が展開する国立公園満喫プロジェクトの対象地域として、2017・2018年に実施してきた、今後10年を想定したインバウンド拡大への対応や利用の質の向上に資する具体的なアクションを実施する「おもてなしの地域づくり」に引き続き、支笏湖での「持続可能な観光・まちづくり」について関係団体・機関によるプロジェクトミーティングを開催し、検討した。
- 【日時】 4月16日,5月16日,6月10日,7月17日,8月9日,9月29日,10月8日,11月12日,12月10日,1月10日,1月29日,2月3日,2月21日,3月3日
- 【場所】 千歳市支笏湖温泉街
- 【主催】 国立公園支笏湖運営協議会
- 【協力】 支笏湖温泉組合、支笏湖ビジターセンター、千歳観光連盟、千歳市、国土交通省北海道開発局、林野庁 北海道森林管理局石狩森林管理署、環境省支笏湖自然保護官事務所、札幌大通りまちづくり会社（株）、はまなす財団、シーニックバイウェイ支援センター
- 【参加人数】 各15～25名程度



▲voyajinスタッフを迎え、インバウンドセミナーを開催



▲外部専門家（マイクハリス氏）を迎えたターゲット検討



▲外部専門家（アレクサンダー氏）を迎えたコンセプト検討

支笏洞爺ニセコルート 《ウェルカム北海道エリア》

SW-4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『千歳リバーシティプロジェクト2019 かわたび×シーニッ×国立公園70周年』

- 【概要】 ウェルカム北海道エリアにて「かわたび×シーニッ×国立公園70周年」の連携プロジェクトとして、社団法人千歳青年会議所が主催する『千歳リバーシティプロジェクト』にて、キャンドルを用いた、千歳川のライトアップを実施。
- 【日時】 2019年8月2日(土)
- 【場所】 千歳川 河畔公園・親水公園および河川敷（千歳市清水町4丁目）
- 【主催】 一般社団法人 千歳青年会議所
- 【後援】 環境省、国土交通省 北海道開発局札幌開発建設部、千歳市、一般社団法人千歳観光連盟、千歳商工会議所、千歳民報社、北海道新聞社千歳支局、株式会社メディアコム
- 【参加人数】 延べ8500名



支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

ST-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

支笏洞爺国立公園指定70周年記念 洞爺湖湖岸清掃

- 【概要】 美しい洞爺湖と火山がおりなす大地の公園「洞爺湖有珠山ジオパーク」。支笏洞爺国立公園が指定70周年を迎えた当日、環境省および地域活動団体等と連携し、洞爺湖の魅力をさらに発信することを目的として、洞爺湖エリアの対象ルートである洞爺湖湖岸沿いと国道230号の“秀逸な道”沿線の清掃活動を実施しました。
- 【日時】 令和元年5月16日（木）
- 【場所】 洞爺湖町（国道230号 洞爺湖湖畔ほか）
- 【主催】 環境省支笏洞爺国立公園管理事務所洞爺湖管理官事務所
- 【協力】 支笏洞爺国立公園洞爺湖地区パークボランティア／（一社）洞爺湖温泉観光協会／
レークヒル・ファーム／レイクトーヤランチ／
シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルート洞爺湖エリア ほか
- 【参加人数】 20名



支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

ST-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

第6回北海道ぐるっと一周2400km 北海道一周ライド

- 【概要】今年で6回目の開催となる「北海道一周ライド」。今年は釧路市よりスタートし、24日間で北海道沿岸を一周、総距離2,400kmを自転車で走破する行程となりました。セクション2の1日目「苫小牧市～室蘭市～豊浦町」には21名が参加し、105kmのライドを通して参加者との交流を深めました。
- 【日時】令和元年6月28日（金）8:30～16:30
- 【場所】苫小牧市～室蘭市～豊浦町（計105km）
- 【主催】北海道サイクリング協会
- 【主管】網走サイクリング協会
- 【協力】北海道内各サイクリング協会／（一社）シーニックバイウェイ支援センター／知床サイクリングサポート
- 【後援】北海道開発局／シーニックバイウェイ北海道推進協議会／報知新聞社
- 【参加人数】21名



▲同行したサポートカー



列になって



白老町内にて



ルート名が記された道路情報板と



ハンドサインで後方へ指示



「ピアキャビン」（室蘭市）にて昼食



休憩地点にて



サポートスタッフとサポートライダー



参加者全員で記念撮影！

支笏洞爺二セコルート 《洞爺湖エリア》

ST-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

支笏洞爺国立公園指定70年記念
1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2019

【概要】 国道453号が国道に昇格した平成5年度から実施している国道453号沿線の清掃活動を拡大し、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として行っている清掃活動。洞爺湖周辺の国道・道道の号数の和が1008（とうや）となることを活動の名称に使用しています。今年度は支笏洞爺国立公園が指定70周年を迎えたことを記念して環境省にもご協力いただき、参加者94名が5コースに分かれて約5トンのゴミを回収しました。なお、当活動は、長年にわたる清掃活動による道路美化への貢献が評価され、北海道開発局より、洞爺湖エリア代表者会議に「道路功労者表彰」感謝状が贈呈されました。

【日時】 令和元年8月31日（土）8:30～11:30

【場所】 伊達市・壮瞥町・洞爺湖町
（国道230号・国道453号・道道2号・道道66号・道道132号・道道578号）

【主催】 支笏洞爺二セコルート／洞爺湖エリア代表者会議

【協力】 環境省 北海道地方環境事務所／支笏洞爺国立公園管理事務所 洞爺湖管理官事務所

【参加人数】 94名



道路功労者表彰をいただきました



支笏洞爺二セコルート《洞爺湖エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ST-4

支笏洞爺国立公園指定70周年シンポジウム パネル展

【概要】 支笏洞爺国立公園は、令和元年5月16日に指定70周年を迎えました。その節目をきっかけに、環境省北海道地方環境事務所では、支笏洞爺国立公園の魅力を広く地域内外に向けて発信すると同時に、多くの方に支笏洞爺国立公園の魅力を発見してもらう取り組みを行っています。今回コラボ企画としてパネル展を行い、支笏洞爺国立公園を守り・育み・整えるといった概念をシーニックバイウェイ北海道を通じて来場者の方々に周知しました。

【日時】 令和元年9月28日（土）13:00～16:30

【場所】 洞爺湖文化センター エントランスロビー（1階）

【事務局】 環境省北海道地方環境事務所

【共催】 環境省北海道地方環境事務所／洞爺湖町／壮瞥町

【後援】 札幌開発建設部／小樽開発建設部／室蘭開発建設部／石狩振興局／後志総合振興局／胆振総合振興局／札幌市／苫小牧市／千歳市／登別市／恵庭市／伊達市／二セコ町／真狩村／喜茂別町／京極町／倶知安町／白老町／（一社）国立公園支笏湖運営協議会／（一社）千歳観光連盟／（一社）定山溪観光協会／（一社）苫小牧観光協会／（一社）恵庭観光協会／（一社）洞爺湖温泉観光協会／（一社）登別国際観光コンベンション協会／NPO法人洞爺まちづくり観光会／NPO法人そうべつ観光協会

【協力】 シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺二セコルート運営代表者会議／UWクリーンレイク洞爺湖

パネル展の
ようす



シーニックバイウェイ北海道や
周辺ルートの紹介



制度パンフレットや
Scenic Byway等の配布



シーニックバイウェイ北海道コーナー

支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

ST-5

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

第5回 西いぶりサイクルツーリズム勉強会

- 【概要】 近年、洞爺湖エリアにおいて増加傾向にある「サイクルツーリズム」の展開に向けて、現状と課題、改善点、ニーズ等を把握することを目的に、レンタサイクルによる洞爺湖畔一周の実走（第1部）、ならびに有識者を交えた参加者同士による意見交換会（第2部）を実施しました。
- 【日時】 令和元年10月8日（火）
〈第1部〉 9:00～12:30 / 〈第2部〉 13:30～16:00
- 【場所】 〈第1部〉 洞爺湖畔（約40km）の実走 / 〈第2部〉 洞爺湖文化センター別館 第1会議室
- 【主催】 室蘭開発建設部
- 【参加機関】 胆振総合振興局／環境省洞爺自然保護官事務所／支笏洞爺ニセコルート洞爺湖エリア／壮瞥町／洞爺湖町／高柳商会／（一社）洞爺湖温泉観光協会／NPO法人洞爺まちづくり観光協会／豊浦町／室蘭工業大学／室蘭サイクリング協会／（一社）北海道開発技術センター
- 【参加人数】 〈第1部〉 18名（A～Dの4グループに分かれて実走） / 〈第2部〉 21名



実走前の説明



現状の確認



実走前に記念撮影！



実走のようす



第2部のワークショップのようす

支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

ST-6

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2020 道の駅そうべつ情報館i(アイ)

- 【概要】平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「寒さ忘れる冬の夜」をテーマに9市町村で開催しました。道の駅「そうべつ情報館i(アイ)」では、作製した雪洞キャンドルを屋外で点灯したほか、館内では、餅つき体験、つきたてのお餅を使ったおしるこの提供、オリジナルデコレーションキャンドルづくりや雪上宝さがしなど、様々なメニューが展開されました。
- 【日時】令和2年1月25日(土) 15:00~17:30
- 【場所】道の駅「そうべつ情報館i(アイ)」
- 【主催】シーニックナイト2020実行委員会
- 【共催】シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルート代表者会議
- 【協力】北海道開発局室蘭開発建設部/壮瞥町/壮瞥町商工会青年部/そうべつくだもの村/NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会/NPO法人そうべつ観光協会
- 【参加人数】40名



雪洞キャンドルの点灯



昭和新山と雪洞キャンドル



雪上宝さがし



オリジナルデコレーションキャンドルづくり



餅つき体験



おしるこの提供



シーニックナイト2020のポスター
(左: ルート全体/右: そうべつ情報館i(アイ))



室蘭開発建設部による告知

支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

ST-7

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2020 洞爺湖温泉冬まつり 洞爺湖汽船本社前特設会場

【概要】平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「寒さ忘れる冬の夜」をテーマに9市町村で開催しました。洞爺湖温泉冬まつり 洞爺湖汽船本社前特設会場では、昨年引き続き室蘭工業大学公認サークル「Studio催事」の皆さんにもご協力いただき、14時頃からスノーキャンドルの作製やイルミネーションの飾り付けなどを行いました。幻想的な光で洞爺湖の町を盛り上げ、観光客の皆様にも楽しんでいただきました。

【日時】令和2年2月8日（土）17:00～20:30

【場所】洞爺湖温泉冬まつり 洞爺湖汽船本社前特設会場

【主催】シーニックナイト2020実行委員会（実施構成団体：一般社団法人洞爺湖温泉観光協会）

【協力】洞爺湖町商工会／洞爺湖温泉飲食店組合／とうや湖温泉旅館組合／室蘭工業大学Studio催事

【後援】洞爺湖町／環境省 北海地方環境事務所 支笏洞爺国立公園管理事務所 洞爺湖管理官事務所／室蘭開発建設部

【参加人数】約30名



スノーキャンドルの製作



イルミネーションの飾り付け



「Studio催事」の皆さんと



スノーキャンドルとイルミネーション 点灯のようす



シーニックナイト2020のポスター
(左：ルート全体／右：洞爺湖温泉冬まつり)



室蘭開発建設部による告知

支笏洞爺ニセコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

第25回 尻別川クリーン作戦

【概要】清流日本一に何度も選ばれており、たくさんの動植物が生息している尻別川での清掃活動。平成7年から始まり、今年で25回目を迎えた取り組みです。町内外から約330名もの方々にご参加、ご協力いただき、ランラン公園から港地区までの約25km区間を、徒歩で河川敷を清掃する班、そしてカヌー30艇とラフティングボート8艇等を使用して河川流域を清掃する班に分かれて清掃活動を行い、2トントラック2台分のゴミを収集しました。

【日時】令和元年6月15日（土）9:00～12:00

【場所】尻別川ランラン公園、目名川橋下流、御成橋付近、港地区ほか

【主催】蘭越町・NPO法人しりべつリバーネット

【参加人数】約330名



カヌーでの清掃



ラフティングでの清掃



中州に上陸し流れ着いたゴミを回収



サップでの清掃



ゴミ回収の様子



尻別川クリーン作戦参加者の集合写真



河川流域で回収したゴミ

支笏洞爺ニセコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

移動販売車によるオープンカフェの展開

- 【概要】 国道230号と276号が交差する喜茂別町を起点とした交流の場として、今年度で4回目の開催となった「しりべし結愛フェアinきもべつ」。喜茂別町のみならず、後志管内の岩内町、寿都町、倶知安町、ニセコ町、仁木町から出店があった。今年度より支笏洞爺ニセコルートで展開している移動販売車も出店し、手作りクッキーやビスコッティ、コーヒーの販売、さらに、Scenic Bywayや後志管内の観光情報の提供を行った。
- 【日時】 令和元年6月15日（土）10:00～17:00、同16日（日）10:00～16:00
- 【場所】 郷の駅アスぺラ向かい イベント特設会場
- 【主催】 喜茂別町商工会
- 【後援】 喜茂別町
- 【協力】 （一社）きもべつ観光協会／NPO法人きもべつWAO／愛和の里きもべつ
北海道信用金庫喜茂別支店／きもべつ青年交流センター
喜茂別町商工会青年部／喜茂別町地域おこし協力隊
- 【参加人数】 約300名（イベント全体）



しりべし結愛フェアのチラシ



移動販売の様子



手作りクッキーの販売



手作りビスコッティの販売



Scenic Bywayや後志管内の観光情報の提供

支笏洞爺二セコルート 《二セコ羊蹄エリア》

SN-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

3町連携による尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理（草刈等）

【概要】今年度で8回目の取組み。羊蹄山麓周辺3町村（京極町・喜茂別町・倶知安町）に加え、平成30年度よりSBW二セコ羊蹄エリアに加入した寿都町も参加した。美しいドライブルートを創出する一環として、二セコ羊蹄エリアを訪れた方々に美しい景観と快適な休憩スペースを提供することを目的とした合同維持管理作業を実施した。今年度は日本風景街道大学二セコ羊蹄キャンパス（二セコ町）やG20観光大臣会合（倶知安町）が開催されるが、その際に訪れる方々にも当エリアの美しい景観を楽しんでいただけるような活動となった。

【日時】令和元年7月23日（火）

【場所】京極町、喜茂別町、倶知安町のビューポイントパーキング周辺（計3か所）

【主催】支笏洞爺二セコルート 二セコ羊蹄エリア代表者会議

京極町景観を考える会／きもべつWAO／NPO法人WAO二セコ羊蹄再発見の会／WAN寿都

【参加人数】約50名



草刈りの様子



花壇整備の様子



清掃活動で収集したゴミ



移動販売車によるシーニックカフェ（道路協力団体）



京極町更進地区の様子



喜茂別町相川地区の様子



倶知安町八幡地区の様子

支笏洞爺二セコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-4

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

G20観光大臣会合 レセプション会場におけるシーニックバイウェイ北海道のパネル展示

【概要】 毎年各国で開催されている国際会議の一つであるG20サミットが、今年度日本で初めて開催されました。G20各国の観光担当大臣や観光関連団体の代表等が参加し、観光分野の世界的課題について議論をする「G20観光大臣会合」が10月25日(金)～26日(土)に倶知安町で行われました。25日の夜にはニセコ町で歓迎レセプションが開かれ、会場前の通路にてシーニックバイウェイ北海道のパネル展示を行い、G20参加者に支笏洞爺二セコルートの「秀逸な道」やルート内で行われている活動などをアピールしました。

【日時】 令和元年10月25日(金)

【場所】 ヒルトンニセコビレッジ(ニセコ町)

【主催】 小樽開発建設部(「秀逸な道」パネル展)

【参加人数】 約250名(参考：NHK NEWS WEB・北海道新聞電子版)



パネル展示作業時の様子



展示したパネル類



レセプション終了後の様子

【展示素材】

- ・支笏洞爺二セコルートの「秀逸な道」パネル
- ・支笏洞爺二セコルートの活動・道紹介パネル
- ・R229の動画



「まるしえ20」の様子



レセプション会場の様子(設営時)



会場案内板

支笏洞爺ニセコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-5

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2020 郷の駅ホッとときもべつ向かい イベント特設会場

- 【概要】平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「寒さ忘れる冬の夜」をテーマに9市町村で開催しました。郷の駅ホッとときもべつ向かいのイベント特設会場では、フードコートや真冬のピアガーデン、バター作り、スノーパーク（滑り台）、真冬の花火大会など、厳しい冷え込みの中、盛りだくさんのメニューが展開されました。
- 【日時】令和2年2月8日（土）13:00～20:00
- 【場所】郷の駅ホッとときもべつ向かい イベント特設会場
- 【主催】きもべつシーニックナイト実行委員会／NPO法人きもべつWAO
- 【共催】（一社）きもべつ観光協会／きもべつ青年交流セミナー／喜茂別町商工会／喜茂別町商工会青年部
- 【後援】喜茂別町／喜茂別町教育委員会
- 【協力】喜茂別建設協会／ボランティアしらかば会／喜茂別華菱会／喜茂別郵便局／北海道信用金庫喜茂別支店／株式会社日道建設運輸／後志建設工業株式会社／他 協賛企業各社



シーニックカフェも出店！



フードコート



真冬のピアガーデン



札幌市ふるさと応援隊によるバター作り体験



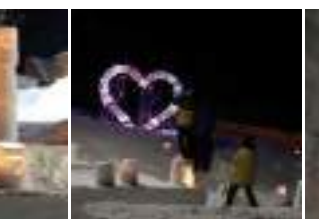
スノーパーク(滑り台)



真冬の花火大会



スノーキャンドルの点灯



シーニックナイト2020のポスター
(左：ルート全体／右：郷の駅ホッとときもべつ周辺)



小樽開発建設部による告知

支笏洞爺ニセコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-6

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2020 赤井川村内各会場

- 【概要】 平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「寒さ忘れる冬の夜」をテーマに9市町村で開催しました。赤井川村では、道の駅あかいがわ向かいにてウィンターフェスティバルが同時開催され、花火の打ち上げやドリンクの販売によってシーニックナイト2020をより盛り上げました。ほかにも、都小学校前の国道や道道、国道393号駐車帯でもキャンドルが点灯されました。
- 【日時】 令和2年2月15日（土）14:30～19:00
- 【場所】 道の駅あかいがわ／都小学校前／国道393号 ほか
- 【主催】 ウィンターフェスティバル実行委員会／えー・くるー（都イベント実行委員会・赤井川村商工会青年部・赤井川村元気グループ農業Together）／赤井川村
- 【後援】 赤井川村／NPO法人赤井川観光協会／赤井川村商工会



花火の打ち上げ



ウィンターフェスティバル会場



シーニックナイト2020のポスター
(左：ルート全体／右：ウィンターフェスティバル)



国道393号駐車帯



都小学校前の道道36号



道の駅あかいがわ



小樽開発建設部による告知

支笏洞爺ニセコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-7

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2020 倶知安町内各会場

- 【概要】 平成18年から開催している「シーニックナイト」。今年度は「寒さ忘れる冬の夜」をテーマに9市町村で開催しました。倶知安町内では、雪トピアフェスティバル2020会場である旭ヶ丘スキー場にてキャンドルの点灯式が行われ、同スキー場や八幡ビューポイントパーキングをはじめとする町内各所でキャンドルが点灯されました。
- 【日時】 令和2年2月15日（土）17:00～
- 【場所】 旭ヶ丘スキー場／八幡ビューポイントパーキング／倶知安町峠下チェーン着脱場 ほか
- 【主催】 シーニックナイト2020実行委員会
- 【協力】 倶知安町役場／雪トピアフェスティバル2020実行委員会／NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会 ほか



雪トピアフェスティバル2020では「倶知安おやじダンサーズ」がダンスを披露！



点灯式



旭ヶ丘スキー場



八幡ビューポイントパーキング



倶知安町峠下チェーン着脱場



倶知安開発事務所前



倶知安町市街地



シーニックナイト2020のポスター

小樽開発建設部による告知

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：沿道の清掃活動ゴミゼロキャンペーンの実施

- 【概要】旭川市西神楽と上富良野町にて、国道沿道の清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」を実施した。旭川市西神楽は地域の市民委員会や高齢者クラブと連携し、国道の他道道のゴミ拾いも実施した。また、上富良野町は、商工会や観光協会等の地域団体、地域の企業、住民等、多数が参加し、国道・道道・町道のゴミ拾いを広範囲で実施した。
- 【日時】上富良野：4月21日 10:00～12:00 上富良野：4月25日 9:00～11:00
- 【場所】上富良野町、旭川市西神楽
- 【主催】大雪・富良野ルート運営代表者会議
- 【参加人数】280名（主催者20名、一般参加240名）



上富良野町 ゴミゼロ



西神楽 ゴミゼロ



大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト
～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

- 【概要】大雪・富良野ルートと十勝シーニックバイウェイ（全3ルート）、ガーデン街道協議会が連携して取り組んでいる「人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクト」では、継続的に植樹した木の維持管理を実施した。令和元年6月11日・10月8日に植樹した全15箇所、55本の現地確認等を行った。維持管理の状況や今後の活動を検討するために、全体会議を令和元年12月3日に開催した。
- 【日時】総会：4月23日（帯広） 維持管理・点検：6月11日（春調査）10月8日（秋調査）
全体会議：12月3日（旭川）
- 【場所】大雪・富良野ルート
- 【主催】北海道の美しい景観を育てる会
- 【参加人数】全体会議 約30名、植樹 約20名



現地確認

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト

- 【概要】 平成25年から道北のシーニックバイウェイルートが連携し、ルート内の美しい風景や地域資源を収集することを目的に、フォトコンテストを開催。平成30年度からは天塩川シーニックバイウェイが新たなルートとして参加し、学生部門を設けた。
- 【募集期間】 6月1日～9月30日
- 【日時】 10月30日・審査会 1月29日・次年度検討会
- 【場所】 大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイ
- 【主催】 道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト実行委員会
- 【参加人数】 全応募作品：254作品（うち学生部門54作品）



審査会の様子



検討会の様子



※※※ 大雪・富良野ルート賞 ※※※
 【朝霧に包まれて】
 撮影者：斉藤 恵一
 撮影地：大雪・富良野ルート 美瑛町

大雪・富良野ルート

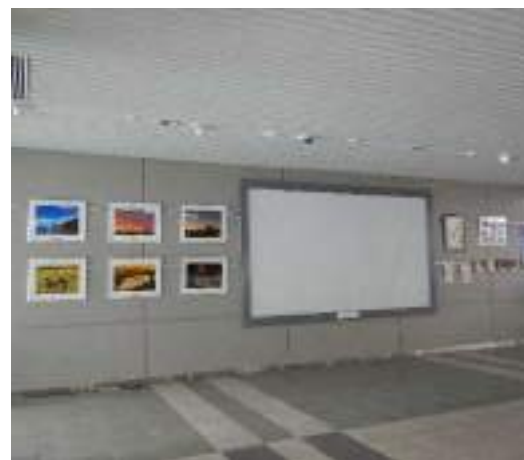
Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展

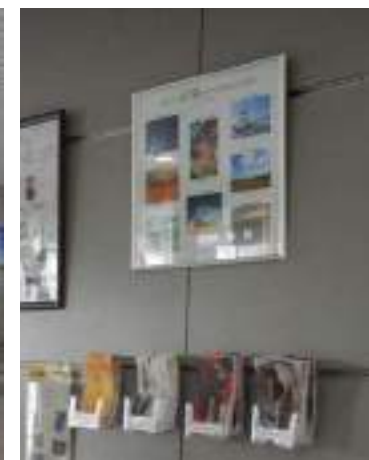
- 【概要】 道北シーニック連携フォトコンテスト及び大雪・ルートの風景を一般市民や旅行者にPRするために、過年度のフォトコンテスト入選作品のパネル展を実施した。令和元年度は、10月15日～11月1日に旭川地方合同庁舎アトリウム、令和2年1月21日～29日に旭川空港で実施した。
- 【日時】 旭川地方合同庁舎アトリウム 令和1年10月15日～11月1日
旭川空港 令和2年1月21日～29日
- 【場所】 旭川地方合同庁舎アトリウム、旭川空港
- 【主催】 大雪・富良野ルート運営行政連絡会議



合同調査アトリウムのパネル展



旭川空港のパネル展



東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

【概要】 シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数力所から人の多く集まる箇所（道の駅2箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイの取り組みを紹介するパネル展示を行った。

【日時・場所】 ・9月22日(火祝)：道の駅うとろ・シリエトク 参加者：430人（主催者30名、一般参加400人）
・9月21日(日祝)：道の駅パパスランドさつる 参加者：350人（主催者20名、一般参加330人）

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】 網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



清 里



ウトロ



（パネル展示の様子）

東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：『シーニックデッキの創出』

【概要】 景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ地域との交流が進んで行く。また、農産物等の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。更に道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】 ウトロポケットパーク、あばしりフロックス公園、メルヘンの丘（女満別）、季風クラブ（ウトロ）、コスモスロード（上斜里）、コミット（清里）、斜里岳山小屋清岳荘（清里）、メーメーカーカリー（斜里）、小清水リリーパーク

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加人数】 約22,000人（9箇所）



大空町メルヘンの丘のシーニックデッキ



清里町清岳荘のシーニックデッキ

東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：ルート内道の駅スタンプラリー

- 【概要】 ルート内の回遊性向上、ルートの認知度向上の目的から、ルート内8道の駅を対象としたスタンプラリーを実施した。アンケート（1,100人）結果からは今まで知らなかった地域情報を得ることができた、集めるのに丁度よい数等の好評の感触を得た。
- 【期間】 6月1日～10月30日
- 【実施場所】 東オホーツクシーニックバイウェイエリア内自治体8道の駅
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【協力】：コカコーラ(株)網走営業所
- 【参加人数】：925人（内当選者18人）
- 【商品】：清涼飲料水1箱×2名、7道の駅特産品詰め合わせ×2名、7道の駅それぞれの特産品×14名



表面



裏面

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北ルート連携フォトコンテストの開催（継続）

【概要】大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルートとのルートを跨いだフォトコンテスト。平成29年度から天塩川ルートも加入した。6年目の開催。

【応募期間】令和元年6月3日～9月30日

【主催】道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会（平成30年度から宗谷ルートに事務局移管）



令和元年度宗谷ルート賞
『朝4時の黄金絨毯-昆布干し』



令和元年度入選

4ルート持ち回りで過去の受賞作品のパネル展も実施



10月15日～11月1日：
旭川地方合同庁舎



6月15日～23日：
道の駅「北オホーツク
はまとんべつ」



8月13～21日：
しょさんべつ岬セン
ター



7月9日～9月1日：
名寄市よろーな

これまでの応募作品数

ルート名	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	全応募 作品数	全応募 作品数	全応募 作品数	全応募 作品数	全応募 作品数	全応募 作品数
大雪・富良野ルート	35	49	69	23	58	71
宗谷シーニックバイウェイ	38	49	95	40	35	80
萌える天北オロロンルート	44	51	43	29	31	55
天塩川シーニックバイウェイ	-	-	-	-	7	48
対象外	3	9	6	0	2	0
合計	117	149	213	92	133	254

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻島での自転車・バスの周遊観光実験（継続）

【概要】 絶景と約25kmにも渡るサイクリングロードを有する利尻島を、サイクリング適地と位置づけ、ライト層であっても気軽に利尻島約60kmを1周できる仕組みづくりを行う。平成29年度の実証実験を経て、平成30年度から本格的にサービスが開始した。

【実施期間】 令和元年4月21日～10月31日（194日間）

【自転車積載回数】：59台回

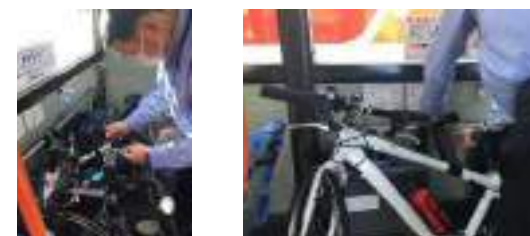
※H29実績 12台回（平成29年8月1日～10月31日）、H30実績 40台回（平成30年4月21日～10月31日）

《宗谷バスが挙げる所管》

- 当該バスが発車してから予約を受け付けないこと（連絡がとれない）
- 自転車レンタルをしている業者が「バスに乗せられる」とだけ伝えてしまい高校生乗車便に乗せられなくて混乱する
- 一番需要が大きいのが5便・6便



車内で掲示されている利用案内



自転車を固定している様子

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：TEPPEN-RIDE 2019（継続）

- 【概要】 3日間連続で、旭川から稚内まで総距離約330kmを、自分の自転車で走り切るサイクリングイベントを天塩川シーニックバイウェイと連携して実施した。
- 【実施期間】 令和元年9月20日～22日
- 【主催】 天塩川シーニックバイウェイルート・宗谷シーニックバイウェイルート
- 【共催】 シーニックバイウェイ支援センター
- 【ルート】 1日目／旭川駅→和寒町（塩狩峠）→剣淵町→士別市→名寄（泊）
 2日目／名寄駅→美深町→音威子府村→中川町（泊）
 3日目／中川町→幌延町→豊富町（抜海線）→稚内市→宗谷岬～完走祝賀会



TEPPEN-RIDE
のルート

0.0km	93.7km	183.8km	326.2km
JR旭川駅	名寄市泊	中川町泊	宗谷岬

宗谷シーニックバイウェイ

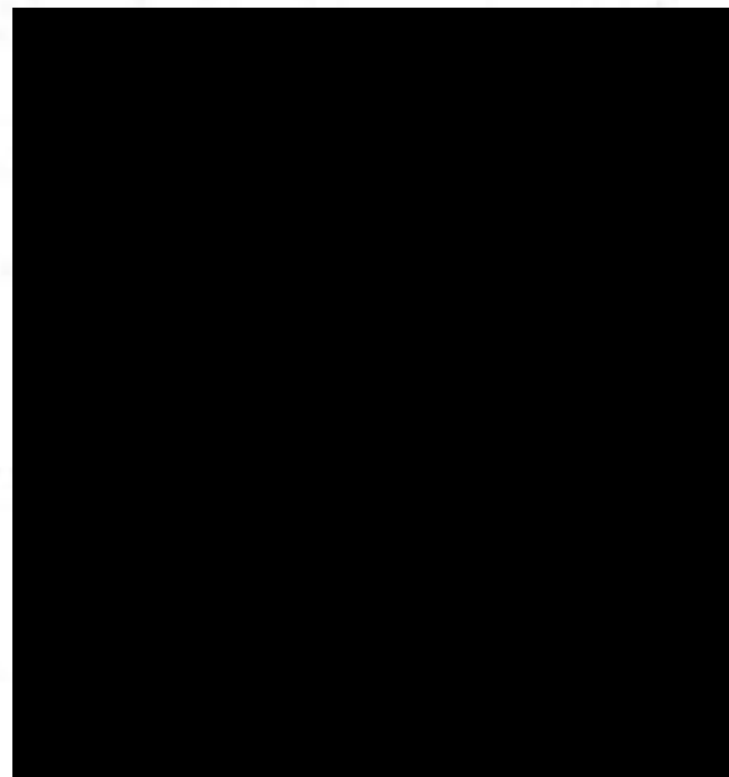
SOYAScenic Byway

活動名：一般国道40号稚内市の花植活動への協力（継続）

- 【概要】 稚内駅前・副港市場・稚内警察署前などの稚内市街地内の国道40号沿線の美化活動。
【日時】 令和元年6月29日
【場所】 稚内市
【主催】 てっぺん「はなくらぶ」
【協力】 宗谷シーニックバイウェイ



植栽活動の様子



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：秀逸な道（宗谷ヒストリーロード）清掃活動

【概要】 国道238号「秀逸な道」声問区間における沿線の美化活動。

【日時】 令和元年8月26日

【場所】 稚内市



小雨の中での作業だった。



誘導員さんや道路標示版のおかげで安全に作業ができた。



駐車帯は特にゴミの量が多かった。



記念撮影

ご協力いただいた企業・団体様（順不同・敬称略）

稚内市建友会
 藤建設㈱
 山本建設㈱
 ㈱富田組
 石塚建設興業㈱
 稚内印刷㈱
 稚内市役所
 稚内開発建設部

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻島サイクルツーリズムの視察

- 【概要】 利尻島におけるサイクルツーリズムの現状や観光資源をご視察いただき、首都圏やイギリスなどをターゲットとしたサイクルツーリズムの可能性についてご助言をいただいた。
- 【応募期間】 令和元年7月8日～9日
- 【主催】 利尻富士町
- 【協力】 宗谷シーニックバイウェイ



丹羽 隆志氏

「にわサイクリングツアーズ」主宰。
始めてギア付自転車に乗る方への東京下町の路地裏散策から、ヒマラヤの峠越え遠征まで、幅広い地域とレベルでガイド。年間のべ800～1000人程度をガイドする。



島内観光資源視察



島内観光資源視察



島内観光資源視察



トレッキングコース
の視察



サイクリングコース
の視察



サイクリングコース
の視察

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：第8回自転車利用環境向上会議 in 北海道・札幌での登壇

- 【概 要】 全国の自転車関連の取り組みを広く発信・共有する場である「自転車利用環境向上会議」にて、宗谷SBWの活動を報告した。
- 【開催期間】 令和元年8月29日
- 【テ ー マ】 スイスモビリティの考え方に基づくサイクルツーリズム



宗谷シーニックバイウェイからはTEPEEN-RIDE開催の経緯や今後の宗谷のサイクルツーリズムの展望などを報告した。



同じパネルディスカッションでは、宗谷バス石橋氏も登壇し、利尻島サイクルバスの報告をした。



平成30年度に宗谷管内をご視察いただいたルucas氏とも成果を共有した。



宗谷サイクルルートマップで管内の自転車環境をPRした。

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：「秀逸な道」及び浜頓別道の駅の小林先生の視察受入

【概要】 道路や景観に関する有識者に、管内の「秀逸な道」試行区間及び新設の道の駅北オホーツクはまとんべつ等をご視察いただき、ご助言をいただいた。

【視察期間】 令和元年8月23日～8月25日

【視察行程】 1日目（23日）／「秀逸な道」試行区間及び道の駅北オホーツクはまとんべつ等視察
・意見交換会

2日目（24日）／利尻一周ふれあいサイクリング前夜祭

3日目（25日）／利尻一周ふれあいサイクリング当日



BASE SOYA視察



道の駅視察



道の駅視察



道の駅視察



道の駅意見交換会



サイクルバス視察



島内観光資源視察



島内観光資源視察

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻一周ふれあいサイクリングにおける一青妙の視察受入

- 【概要】 自転車に関する有識者に、「利尻一周ふれあいサイクリング」にご参加・ご視察いただき、ご助言をいただいた。
- 【視察期間】 令和元年8月24日～8月25日
- 【視察行程】 1日目（24日）／利尻一周ふれあいサイクリング前夜祭・講演会
2日目（25日）／利尻一周ふれあいサイクリング当日
※26日以降は単独で管内を周遊された。
- 【主催】 利尻富士町
- 【協力】 宗谷シーニックバイウェイ



一青 妙氏

エッセイスト・女優・歯科医として活躍。2016年、自転車で台湾一周環島を完走し、その体験をまとめた書籍『「環島」ぐるっと台湾一周の旅』（東洋経済新報社）を2017年に出版。自転車やサイクルツーリズムに関する講演を各地で行い、四国一周サイクリングPR大使にも任命されている。



島内観光資源視察



前夜祭



講演会



大会当日



大会当日



大会当日
(SNSでのPR)

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：宗谷管内サイクル地域ルートの開発

【概要】 宗谷管内での地域ルートを開発するために、有識者や地域関係者と試走調査を行い、ルートの現状や受入環境の状況、景観の評価とともに、サイクルツーリズム推進に向けた取り組みの意見交換も行った。

【視察期間】 令和元年9月24日・25日

【視察行程】 1日目（24日）／エサヌカ線（始点漁港～終点途中）の試走調査（約12km）
クローバーの丘→はまとんべつ温泉ウイングの試走調査（約13km）
意見交換会（はまとんべつ温泉ウイング）

2日目（25日）／砂丘のえき→こうほねの家【約22km】・意見交換会（こうほねの家）



宮内 忍氏
NPO 法人日本風景街道
コミュニティサイクル
ツーリズム研究委員会
顧問。ナショナルサイ
クルルート制度検討小
委員会委員等



Low Teck Wee
（ロウ・テック
・ウィー）氏
Shangrila
Adventure 云端
骑行 Director



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：全道フットパスの集い in わっかないの共催

【概要】 第30回目となる全道フットパスの集いを稚内市で受け入れた。宗谷丘陵白い道・稚内公園にて、全道から150名の参加者がフットパスを行った。

【実施期間】 令和元年10月5日～6日

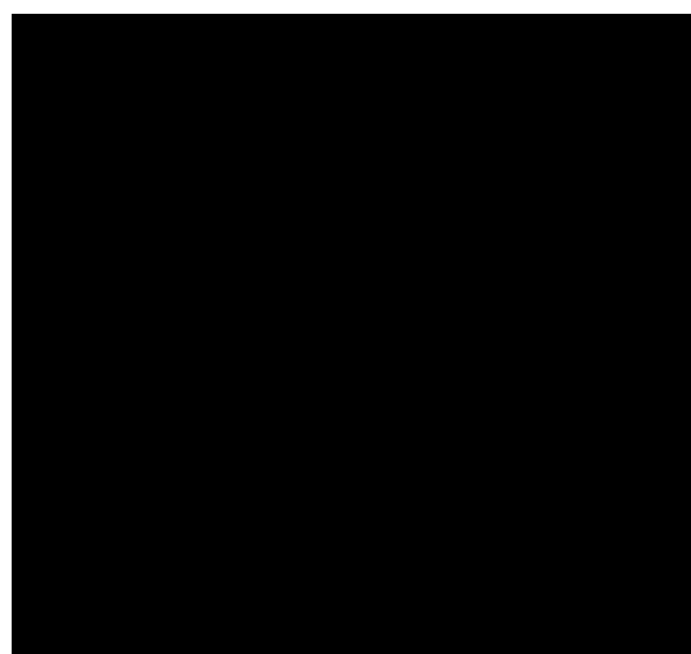
【主催】 稚内観光協会

【共催】 宗谷シーニックバイウェイ

【ルート】 1日目／最北端・宗谷丘陵コース（約11km）・宗谷歴史公園・白い道コース（約5km）

※1日目は、株式会社THE-O 小川浩一郎氏にフットパスの魅力について講演いただいた。

2日目／稚内公園コース（約5.8km）

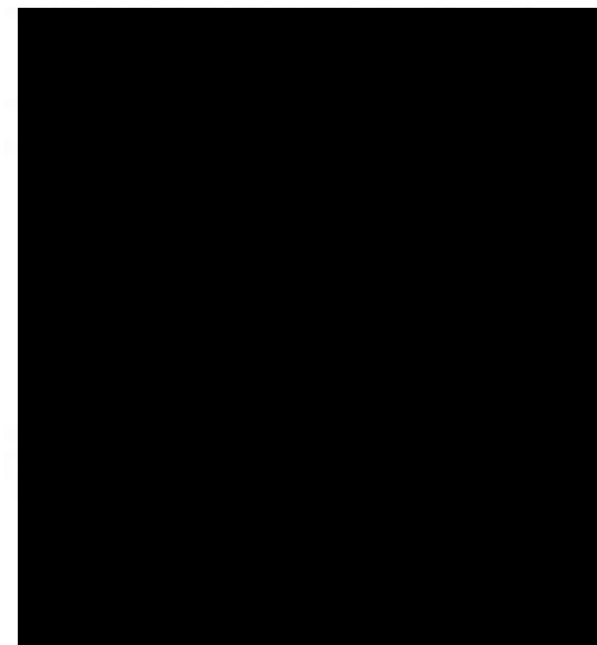


宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：地域連携DMOの設立準備室設置に向けた協力

- 【概要】 地域連携（稚内市・豊富町・猿払村・礼文町・利尻町・礼文町）DMOの設立のための準備室として宗谷シーニック関係者が関わる。
- 【実施期間】 令和元年度
- 【主催】 わっかない観光活性化促進協議会 地域連携DMO準備室 ※R2年6月1日より設置
- 【協力】 宗谷シーニックバイウェイ



ワークショップなどを通じて、地域の観光コンテンツの洗い出しや各自治体の首長、観光協会長、観光担当課長と申請に向けた議論を行う。

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：情報掲示板での地域情報の提供
(運営委員会)

【概要】道の駅「摩周温泉」において、地域手作りのアナログ情報板（てしかが情報掲示板）に入浴施設や飲食施設、宿泊施設のインフォメーションカードを置くことによって、地域情報を提供し、利用者のニーズを把握している。なお、一部店舗について、インフォメーションカードの裏面にクーポン機能を持たせることで、実際にカードを入手した人の行動変化を追跡調査している。また、平成29年秋には、開陽台展望館（中標津町）に「中標津情報掲示板」を開設し、2つの情報掲示板で連携して情報提供を実施している。

【日時】通年（なかしべつ情報掲示板は、開陽台展望館のOPEN期間のみ）

【場所】道の駅「摩周温泉」（弟子屈町）、開陽台展望館（中標津町）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 運営委員会



てしかが情報掲示板



中標津情報掲示板

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会
(景観まちづくり部会)

【概要】景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットのシーニックの森づくりを行った。令和元年度は、植樹活動後に「木育教室」を同時開催し、樹液を使ったアロマオイルの作成を体験し、植樹活動だけでなく、木と触れ合える機会を創出した。

【日時】令和元年10月12日 9時～14時

【場所】そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）

【主催】景観まちづくり部会、シーニックカフェプロジェクト

【参加人数】約60名



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：クリーン・サイクリング
(景観まちづくり部会)

- 【概要】 道路景観を改善するための活動として実施しているルート内の清掃活動と、サイクルツーリズムの体験会を連携させ、ルート内の自転車道を実装してサイクルツーリズムを楽しむとともに、自転車道駐車帯の清掃活動を行う「クリーン・サイクリング」を実施した。
- 【日時】 令和元年8月4日
- 【場所】 湿原の夢ロード（釧路市市街部～釧路市阿寒町本町）
- 【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観まちづくり部会
- 【参加人数】 20名



参加者の集合写真



清掃活動の様子

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】 平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、桜の季節に合わせて、国道沿線や観光地などを清掃するおもてなしの活動を行っている。今年度は、計4箇所を実施した。今後は、関係機関との調整を図り、実施箇所の拡大を目指す。
- 【日時】 平成31年4月29日（祝）
- 【場所】 五稜郭タワー周辺、函館市地域交流まちづくりセンター周辺、函館市縄文文化交流センター周辺、七飯町田園通り・高台通り周辺
- 【主催】 函館・大沼・噴火湾ルート
- 【参加人数】 140名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市地域交流まちづくり
センター周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺



▲七飯町田園通り・高台通り

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：第16回 国道5号函館新道花いっぱい活動 2019

- 【概要】 函館の玄関口である国道5号函館新道インターチェンジ付近。函館新道（国道5号）の開通をきっかけとして始まった植栽活動を行う取組。札幌方面から函館新道を利用して函館に入る時の玄関口となるため、観光客や地域住民の方々に気持ち良く走ってもらおうと、おもてなしの気持ちを込めて実施している。
- 【日時】 令和元年6月8日（土）
- 【場所】 国道5号函館新道インターチェンジ付近
- 【主催】 函館花いっぱい道づくりの会
- 【参加人数】 約890名（参加団体数：28団体、小中高生の参加：672名
稜北高校、桔梗中学校、亀田中学校、スポーツ少年団、野球少年団など）



▲（上・右）地元の小中高生がそれぞれ担当する植樹罫に花植えをする様子
▲（右下）終了後、参加者に配られる人気の焼きそばに舌つつみ

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：森町花いっぱい運動「さわらフラワーロード」 2019

【概要】花いっぱい運動や環境美化を推進するため、町内会など地域の各種団体が集まって発足し、それ以来、町内の国道において沿道を花で彩る活動を継続して行ってきた。6月から11月頃までの間、長期間にわたって花が楽しめるよう、数万本もの花苗の植付、水やりや除草作業等の維持管理に尽力している。こうした努力により、現在では「さわらフラワーロード」として地域の観光名所に定着している。

【日時】毎年5月中旬～10月下旬

【場所】国道278号沿線 約4km

【主催】森町花いっぱい運動推進協議会

【参加人数】約300名



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックの森づくり事業～ススキ刈りとツル剪定～

【概要】 平成21年度から始まったルート連携活動。カーボンオフセットの考えを取り入れたCO₂削減を主目的とし、ブナの森を蘇らせるために、付近の山から山取りした苗木を約100本植栽している。最近では、苗木に被圧がかかっているススキなどの下草刈りを主に行っており、今年度は、「広報ほくと」を活用した参加者の獲得を行った。今後は、既存イベント（きじひき高原まつり）も活用した参加者確保を目指す。

【日時】 令和元年8月18日（日）

【場所】 きじひき森林公園の森

【主催】 函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】 約20名（主催者：5名、一般参加：15名）



▲開会式の様子



▲下草刈りの様子



▲参加者全員での集合写真

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：南かやべ縄文まつり2019

【概要】 縄文文化交流センター駐車場で、南かやべ縄文まつり実行委員会主催の「令和元年南かやべ縄文まつり」が開催された。ステージでは、青森市出身の津軽三味線奏者山上進氏や、函館市を代表するトラベリングバンド「ひのき屋」、縄文太鼓演奏家の茂呂剛伸氏による演奏のほか、南茅部高等学校書道部による書道パフォーマンスが行われました。そのほか、学芸員の解説を聞きながら史跡垣ノ島遺跡をめぐる遺跡案内や、発掘体験、弓矢の的当て、火起こしなど、来場者はさまざまな催しを楽しんでいた。また、色ご飯を土偶の顔に似せた「中空土偶弁当」や、がごめ昆布を使った「ぶっかけがごころそうめん」など、地元ならではの食も人気を博していた。

【日時】 令和元年9月29日（日）

【場所】 縄文文化交流センター駐車場

【主催】 函館市縄文文化交流センター / 協力：（一財）道南歴史文化振興財団



函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2020

- 【概要】 平成18年度から始まったルート連携活動。国道や道道沿線、観光施設や公園などに、全て手作りのワックスキャンドルを設置する取組。今年度は、計13箇所（内2箇所は、雪不足とコロナウィルスの影響により中止）で実施した。また、各会場では、手作りのワックスキャンドルで、シーニックのロゴマークにもなっているハート形を演出した。今後は、さらなる実施地域の拡大とツアー造成等による観光客の獲得を目指す。
- 【日時】 令和2年2月1日（土）、3日（日）、9日（土）、10日（日）、16日（土）、24日（日）
- 【場所】 五稜郭公園、シエスタ前～行啓通り、函館市縄文文化交流センター、函館新道、はこだて朝市ひろば、函館市地域交流まちづくりセンター、亀田八幡宮境内（以上、函館市）、矢不来天満宮、茂辺地北斗星広場（以上、北斗市）、大沼国定公園（七飯町）、オニウシ公園（森町）
- 【主催】 シーニックdeナイト実行委員会
- 【参加人数】 約2,000名（主催者：250名、一般参加：1,750名）



▲函館新道



▲シエスタ前～行啓通り



▲オニウシ公園（森町）



▲函館市縄文文化交流センター

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A-1

活動名：秀逸な道清掃プロジェクト

【概要】 ルート内の秀逸な道として試行指定された国道232号沿いで、昨年度から清掃活動に取り組んでいる。活動の実施により、普段、意識していなかった景観への認識の醸成や、沿道のゴミに海産物が多く混ざっていることなど、新しい気づきがあった。

【日時】 令和元年6月13日 14:00～15:00

【場所】 国道232号沿い（秀逸な道区間）

【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【協力】 留萌開発建設部

【参加人数】 活動従事者：7名



2019年清掃活動の様子



2018年の様子（6.6実施）

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A-2

活動名：船場公園での除草・物販・啓発活動（道路協力団体）

【概要】 るしんふれ愛パーク（船場公園：留萌市）手前の国道沿いで、道路協力団体として、施設手前の植樹柵の除草活動、地域特産品や農産品の販売活動（一部、公園管理棟内で実施）を実施した。物販活動は、当日、当公園で実施されたイベントに合わせて開催し、物販活動の収益アップを図った。

【日時】 令和元年9月28日～29日

【場所】 国道231号沿い（留萌市船場公園前）

【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【協力】 留萌開発建設部、（一社）シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】 活動従事者：10名



除草の様子（令和元年9月28日）



物販の様子（令和元年9月29日）

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A-3

活動名：道北ルート連携フォトコンテストの開催

【概要】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイの道北4ルートによる、ルートを跨いだフォトコンテストを実施した。今年度で6年目の開催であり、多様な作品が集まっており、パネル展示を実施している他、作品の活用方法についても、フォトブックの制作を進めている。

【応募期間】令和元年6月2日～9月14日

【主催】シーニックバイウェイ北海道 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会



令和元年度 萌える天北オロロンルート賞
【茜さす白波】



令和元年度 入選作品(萌天内)



パネル展示の様子
(左:しょさんべつ温泉岬センター、右:ほろのペトナカイ観光牧場)



審査会の様子(2019.10.30)

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A-4

活動名：シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進

【概要】 ルート内の景観のすばらしい場所や飲食店を、シーニックバイウェイ推進協議会で統一的に広報活動を実施している「シーニックカフェ」として登録し、ルート内の景観のよい場所や施設を統一的にPRすることで、ブランド化に繋げることを目的として実施している。現在、ルート内に9カ所のカフェが設置されており、連携フォトコン作品のボード展示や、中部地区（苫前・羽幌・初山別）にて、試行的に地域情報の発信アンケート調査を実施。

【登録数】 シーニックカフェ9カ所（令和2年3月現在）

<登録先カフェ>

- ・喫茶ポルク（増毛町）
- ・千望台レストハウス（留萌市）
- ・ふなばカフェ（るしんふれ愛パーク内：留萌市）
- ・からくれ（小平町）
- ・ラウンジWildmill（道の駅風Wとままえ内：苫前町）
- ・TIARA（羽幌町）
- ・レストラン北極星（初山別村）
- ・道の駅富士見レストランとんがりかん（遠別町）
- ・てしお温泉夕映レストラン（天塩町）



連携フォトコンの
紹介用ボードの展示
（小平町）



情報発信リーフレット



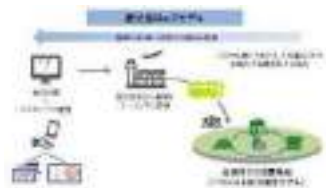
萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

A-5

活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト

【概要】手ぶらサイクリングやバイクホテルをパッケージとして提案することで、ライト層を含めた来訪サイクリスト層の拡大と来訪者数の増加や、サイクリストによる観光消費の促進、「オロロンライン・ファン」の創出を目的とし、①オロロンラインサイクリスト応援キャンペーン、②手ぶらサイクルの検討、③バイクホテルの試行的設置、④手ぶらサイクルとバイクホテルをセットにした旅行パッケージの検討を行った。

	オロロンラインサイクリスト応援キャンペーン	手ぶらサイクルの検討	バイクホテルの試行的設置	手ぶらサイクルとバイクホテルをセットにした旅行パッケージの検討 (プロジェクト検討会)
進捗	  - 応援ステッカーの作成 - 応援ステッカーの掲示依頼 - ステッカー・サイクルラック・ポンプの発注受付中	 3案のモデルルートを検討 「手ぶらサイクリング」の実現に向け、沿岸バスとの打合せ(11月5日)	 - サンセットプラザ羽幌(羽幌町)との打合せ - 夕映(天塩町)との打合せ	 コササル(留萌市内の旅行会社)との打合せ(11月22日)
成果	管内道路維持業者6社から申込いただいた。	- 主旨は理解いただいた - 本社BTなど有人営業所での荷物の経由だにより実現性UP ↓沿岸バスの検討 - 検討の結果、夕映での受け渡しは、施設の承諾が得られれば実現可能 - 羽幌町内循環バスの荷物輸送はNG	●サンセットプラザ羽幌 - 主旨は理解いただいた - バスの荷物の受け取りについては、沿岸バスさんの検討結果を受けて、考えたい ●夕映え - 主旨は理解いただいた - 今後バイクホテル化に向けた機材設置へ	- 主旨は理解いただいた - 手ぶら観光の受注受付になることは可能

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

- 【概要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的にルート独自で実施している。
- 【実施内容】参加施設にスタンプラリーパンフレット及びスタンプを設置し、参加者はラリー参加施設の2カ所以上のスタンプの押印で応募が可能。スタンプ押印数により景品が抽選で当たる。
- 【開催期間】令和1年7月13日（土）～10月16日（水）
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加施設】十勝平野・山麓ルート内 シーニックカフェ11カ所
- 【応募人数】137名（十勝管内：41名、十勝管外：58名、北海道外38名）

サイズ：見開きA4（観音折り）



（表）



（裏）

シーニックカフェ	市町村
ヨークシャーファーム	新得町
三国峠café	上士幌町
ナイトハイ高原牧場ナイトハイテラス	上士幌町
カントリーパパ	鹿追町
美蔓亭	清水町
十勝千年の森	清水町
カフェダイニング サルビア	清水町
士幌高原ヌプカの里	士幌町
レストランあしよろ	足寄町
ソフトクリーム工房	陸別町
tomono（8月中旬に閉店）	陸別町

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：町のイベント一覧

【概要】 ルート内のイベントと各町のオススメスポットを紹介した一覧を作成し、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに、ルート内周遊や再訪を促すツールとして製作・配布している。裏面にはルート内のシーニックカフェマップを掲載し、スタンプラリーと連動したPRを展開した。また、今年度より各町の特産品も掲載しPRを行った。

【作成】 平成31年4月

【発行】 平成31年4月

【主催】 十勝シーニックバイウェイ
十勝平野・山麓ルート

【配布先】 十勝平野・山麓ルート内道の駅、
商工会および観光協会など

【仕様】 印刷部数：6,300部
サイズ：A3（両面）



（表）
町のイベント一覧



（裏）
十勝平野・山麓ルート
シーニックカフェマップ
おすすめドライブルート
各町特産品

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：トカチさんろくフォトコン巡回パネル展

【概要】 十勝平野・山麓ルートエリアの景観を活かした、ルートPR事業。

【実施内容】 フォトコンテスト巡回パネル展

【開催期間】 令和1年7月24日（水）～令和1年12月30日（月）

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

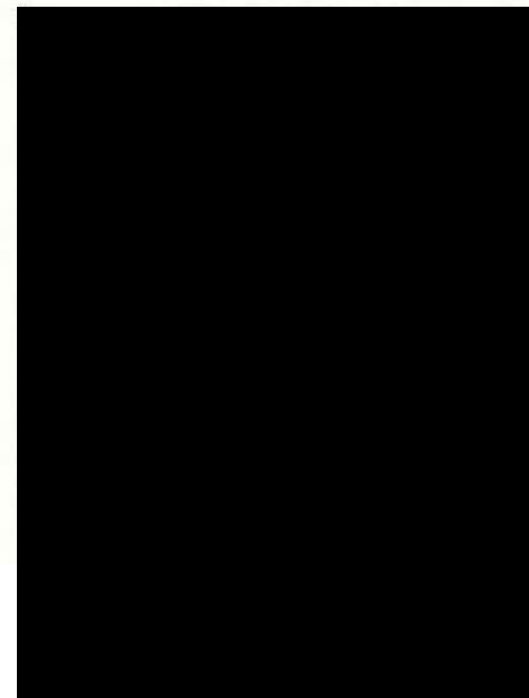
【展示作品数】 20点



チラシ



帯広空港での展示の様子



十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：とかちファンクラブ事業

【概要】 十勝の施設をお得にめぐる「とかちファンクラブ会員証」を販売。今年度より名称を変更し、今年度で9年目の事業となる。1冊300円で最大約7,000円以上お得な会員証。観光施設、ビジネスホテル、道の駅など、道内約70か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。

その他、インスタフォトコンテストやスタンプラリーの連動企画を同時開催し、PRに努めた。インスタフォトコンテストは応募総数が171件に及んでいる。

【販売・実施期間】 平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（火）

【対応施設エリア】 十勝シーニックバイウェイエリア

【事業対応施設】 上記エリア内のアクティビティ、ガーデン、グルメ、温泉、合計51施設
（北の屋台20店舗含む）

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【販売数】 1,449冊



チラシ(表面)



(チラシ裏面)



(会員証)

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ事業

【概要】 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」事業。主な活動は、音更町十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」、帯広駅コンコース等へのライフコンシェルジュ派遣。今後も活動の場を増やすとともに、育成に力を入れる。今年度はトライアルとして、ライフコンシェルジュが帯広の街中で、十勝・帯広の歴史や食について説明を行いながら散策する「街なか散策ツアー」を実施。感じる部会とライフコンシェルジュが一体となって事業に取り組んでいる。

【活動期間】 令和元年7月～令和2年3月

【場所】 十勝管内各所

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【活動状況】 ライフコンシェルジュ：34名 ガイド活動実施先は以下のとおり

①シーニックカフェ十勝が丘展望台（7/6～9/29土日祝日）延べ38名／②帯広駅コンコース内「幸福駅案内所」（7/21～8/13土日、お盆）延べ7名③とかちマルシェ・十勝観光案内所（8/31～9/1）延べ13名／④街なか散策ツアー（9/1～10/27土日祝日）延べ40名



とかちマルシェ

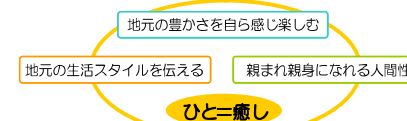


十勝が丘展望台



街なか散策ツアー

LIFE+CONCIERGE
十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人
ご当地風土アドバイザー



ライフコンシェルジュとは

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

【概要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。来年度のテーマは「生き物」で、十勝で見られる野生動物や野鳥、野生生物観察時の注意点を掲載し内容も充実させた。例年通り観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。

【製作・発行】製作：令和元年度、発行：令和2年4月

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：17,000部 サイズ：A2

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、道の駅、札幌市内など



<トカプチ雄大空間ルートMAP>

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

【概要】

トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、事業者間で相互PRに役立てている。設置しているパンフレットも補充が必要になる等、需要も高いことから、今後も実施予定。

【実施時期】平成31年4月～令和元年9月
(パンフレット配送：1回/月)

【設置箇所】17カ所（加入先20団体）

【配達回数】6回/年



＜トカプチ情報ボックス＞

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：学校シーニックバイウェイ

【概要】

学校シーニックバイウェイは、子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的として、平成22年に、幕別町立忠類小学校5年生を対象に開始した。

今年度は、中札内小学校（37名）、上中札内小学校（3名）の6年生を対象に授業を実施した。

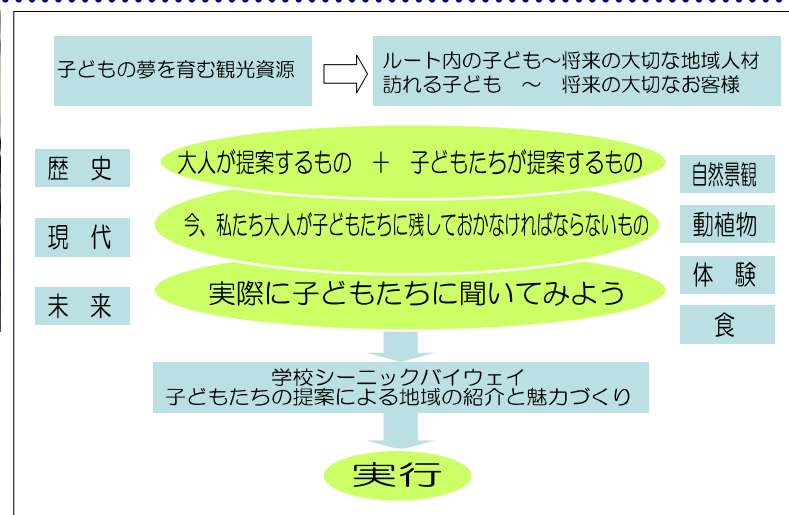
【日時】令和1年10月4日（金）

【場所】授業：中札内小学校

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道



学校シーニックバイウェイの授業の様子



学校シーニックバイウェイの概要

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成 & フォトコンテスト巡回作品展

【概 要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は、候補ルート時から継続して実施している活動である。フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成18年より実施している活動で今年度で14年目である。今年度は、管内だけではなく管外・道外から学生や90歳を越えるベテランなど幅広い年代の70名から多数の応募があり、フォトコンテストの取組が着実に根付いている。また、フォトコンテストの入賞作品の巡回作品展（5箇所：各2週間）を開催した。フォトコンテスト及びフォトコンテストカレンダーの作成は本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえる活動となっていることから、継続的に取り組む予定である。

【日 時】 作品募集：令和1年7月1日（月）～9月30日（月）

カレンダー販売：令和1年11月～令和2年1月

【場 所】 撮影：南十勝夢街道エリア 販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、札幌市内など

【主 催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】 フォトコン応募者数：70名 応募作品数：334点 カレンダー：1,250部作成



2019フォトコンテスト
募集チラシ



2019年カレンダー



フォトコンテスト審査会



フォトコンテスト表彰式

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

【概要】

ルート内のシーニックカフェを楽しみながらめぐっていただくと共に、訪れた方へ南十勝夢街道の景観の素晴らしさや、ルート内の魅力を知っていただくため、平成26年度からルート独自で実施している。

【実施内容】

ルート内のシーニックカフェ4施設にラリー台紙およびスタンプを設置し、参加者は4施設全てでスタンプを押印し、カフェ店員に提出することで応募となる。応募者全員に南十勝夢街道フォトコンテストカレンダーを送付。

【開催期間】令和1年7月20日（土）～9月30日（月）

【参加施設】シーニックカフェ 4施設

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【応募人数】完全制覇者：10名（十勝管内：6名、十勝管外：3名、北海道外：1名）



2019スタンプラリー用紙（表面）



スタンプラリー用紙（裏面）
スタンプ台紙

シーニックカフェ	自治体
道の駅さらべつ 観光と物産の館「ピポパ」	更別村
ちゅうるい （忠類共栄牧場内）	幕別町忠類
大樹晩成温泉	大樹町
広尾 （ひろおサンタランド内）	広尾町

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2020

【概要】 当ルートがシーニックバイウェイ北海道のルートとして認定された年から始めて9回目の取り組みである。ルートの魅力を広くPRするとともに、シーニックバイウェイの活動を周知することを目的として、ルートの取り組み（沿道景観保全等）、集客施設、景観スポットなど、ルート内の魅力的なスポットの写真を使用したカレンダーを作成・配布した。カレンダーはA4版、カラー刷り16ページで、18,000部発行。制作においては、ルートメンバーによるカレンダー作製実行委員会を設置し、ルートイベント情報なども取り入れた。

また、カレンダーでは道央・道南ブロック4ルートの「秀逸な道」をご紹介している。

【日時】 令和1年9月初旬～令和2年3月末頃まで

【場所】 ルート内各地、関係各機関 他

【作成・発行】 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート
運営代表者会議

【発行部数】 18,000部



カレンダーの表紙



道央・道南エリアの「秀逸な道」の紹介



カレンダーでルート内の活動や施設を紹介

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：感動・寄り道 スタンプdeBINGOラリー2019

【概要】平成21年から継続している札幌芸術の森や滝野すすらん丘陵公園など南区内の施設を巡るスタンプラリー。指定施設20カ所のスタンプを集めると、定山溪温泉宿泊券や南区特産品などが当たる抽選に参加できる。平成28年度から“縦・横・斜め”とビンゴゲームのようにスタンプを集め、ビンゴすることに当選確率が上がるルールを設定した「スタンプdeビンゴラリー」を実施している。平成30年度は、応募者数728名、全体の23%を占める171名が完全制覇した。年代で見ると、30代と40代がそれぞれ17%ずつ多くを占めていた。スタンプ押印数は9,422個であった。

【日時】平成31年4月27日～令和1年10月31日

【場所】札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート内施設 19カ所

【主催】札幌シーニックバイウェイビンゴラリー実行委員会

【参加人数】応募者数728名、スタンプ押印数9,422個



スタンプラリーマップ



スタンプ設置スポット



応募用紙



スタンプラリーチラシ

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：真駒内地区連合会と真駒内曙中学校の花植え活動

- 【概要】 真駒内地区連合会（横堀道子会長）が主催し、真駒内曙中学校の生徒らと一緒に、国道453号沿いの真駒内曙中学校脇の約400m区間の植樹帯に花植えを行いました。同連合会と中学生に加え、札幌市南区役所、真駒内地区の老人クラブなどから約80人が参加。参加者は、きれいな花を咲かせるように願いを込めながらペゴニアを丁寧に植えきました。
- 【日時】 令和元年5月20日（月）10:00～11:30
- 【場所】 国道453号沿いの「真駒内曙中学校」脇の約400m区間
- 【主催】 真駒内地区連合会
- 【協力】 真駒内曙中学校/札幌市南区役所/真駒内地区の老人クラブ
- 【参加人数】 参加者数80名



横堀会長の挨拶(上)・校舎の前で集合(下)

ペゴニアを受け取る生徒達

花植えの様子

花植え終了後、水やりをする生徒

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会の花植え活動

- 【概要】今年度で第19回目となった芸術の森フラワーロードの花いっぱい運動は、札幌市豊平区から支笏湖に向かう国道453号沿いの「札幌芸術の森」の手前の沿道において植栽活動を行っている。小学生からシルバー世代まで幅広い年代の方々、約100名が集まり、全長3km区間の道路に沿って、美しく見える配置で花の植込みを行った。植込みと後片付けが終わった後は、参加者全員がまちづくりセンターで豚汁とおにぎりで昼食を頂いた。
- 【日時】令和元年5月20日（月）
- 【場所】国道453号沿いの「札幌芸術の森」の手前約3km区間
- 【主催】芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会/芸術の森地区連合会
- 【参加人数】参加者数100名



花植えの方法を説明



花植えの様子(上)・花が植わった花壇(下)



花植えの様子



集合写真(上)・活動終了後の交流会(下)

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：板割拡幅記念植樹区間景観保全活動

【概要】 平成28年度から継続して実施している景観保全活動。平成15年に板割沢拡幅事業の記念植樹が行われた区間で樹木が成長し景観を阻害する状態になっていたのを、平成28年に小金湯さくらの森がオープンしたことを契機に、記念植樹区間の道路空間改善について検討を開始し、平成28年度から地域住民と道路管理者が協働で草刈りや樹木伐採、ゴミ拾いを実施する沿道景観保全活動を継続して実施している。今年度は6月に草刈り、10月に草刈りと樹木伐採を実施。児童会館の子ども達もゴミ拾いに協力して頂いた。

【日時】 1回目：令和元年6月26日（水）、2回目：令和元年10月5日（土）

【場所】 国道230号 板割拡幅記念植樹環境整備区間（L=0.1km）

【主催】 国道230号協働型道路マネジメント検討会

【協力】 簾舞まちづくり協議会/簾舞町内会連合会/みすまい児童会館/札幌開発建設部

【参加人数】 1回目：7人、2回目：32人



参加した子どもが描いてくれたエゾエノキの樹木板



初夏に実施した草刈りの様子（6月）



除草後にきれいになった様子



樹木を伐採する様子（10月）



地域の子もたちも一緒にゴミ拾い



参加者全員の集合写真



活動参加募集チラシ

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト①

どうなん追分シーニック清掃活動

【概要】GW道南地域に桜が咲く季節にあわせ、一年で一番観光客が多い時節、GW前約2週間をシーニック清掃週間と位置づけルートで景観づくりをしている。江差町榎川では第7回目・木古内町では第4回目の取組みとなり、昨年からはまった秀逸な道のエリア松前町でも今年第2回目を開催した。継続的な活動となってきている。折戸浜駐車場で6月に郵便局中心の清掃活動に参加、秀逸な道区間であり関わり等他の場所とともに検討。

【日時】木古内町 平成31年4月14日（日）・松前町 平成31年4月20日（土）
江差町 平成31年4月21日（日）・（松前町 令和元年6月8日（土））

【場所】木古内町サラキ岬、みそぎ浜、大釜谷駐車場、木古内の坊（R228沿い）
松前町道の駅北前船松前周辺（R228沿い）・江差町榎川駐車場周辺（R228沿い）
（松前町折戸浜駐車場周辺（R228沿い））

【実施団体】木古内町観光協会ほか・松前観光協会ほか・江差観光コンベンション協会ほか・（郵便局員ほか）

【参加人数】木古内町100名・松前町30名・江差町30名・（松前町折戸浜30名）

《木古内（2018年90名・2017年40名）・松前（2018年11名・2017年開催なし）・江差（2018年30名・2017年30名）》



木古内サラキ岬



松前 道の駅周辺



江差榎川 駐車帯



（松前折戸浜 駐車帯）

どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト②
木古内町サラキ岬R228沿いチューリップほか植栽活動

【概要】 国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、チューリップの植栽を行っている。5月に満開を迎えるために7月には球根の掘起し、10月には球根植えを行っている。今年は福島町青函トンネル記念館前でVSPに取り組んでいる植栽をシーニックとしても初参加し、道路景観づくり、地域づくりとして取組を推進した。

【日時】 チューリップフェア 令和元年5月1日～6日 球根掘起し作業 令和元年7月6日
球根植え作業 令和元年10月26日 福島町植栽活動 令和元年6月26日

【場所】 木古内町サラキ岬 ・ 福島町青函トンネル記念館前

【主催】 咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会 / 福島町観光協会

【参加人数】 チューリップフェア 不明（カウントなし）

球根掘起し 70名 ・ 球根植え100名 ・ 福島町植栽 25名

《球根掘起し（2018年70名・2017年50名）・球根植え（2018年110名・2017年100名）・福島町植栽（なし）》



チューリップフェア5月



球根掘起し作業 7月



球根植え作業 10月



福島町植栽 6月

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなん追分シーニックdeナイトプロジェクト
どうなん追分シーニックdeナイト

【概要】「キャンドルのあかりが繋ぐ道」をテーマに年間通して、主に当ルートではイベントと併催することで沿道景観づくりの演出をしている。今年度は昨年に引き続き3カ所の道の駅で冬の集客を目指して、連携して灯りのイベント開催。エリア内でのシーニックのあかりの活動は今後も継続的に活動を実施。下記のほか8月1日江差ガイアナイト2019、12月31日江差年越しキャンドルも開催されている。

■木古内チューリップフェア2019どうなん追分シーニックdeナイト 【日時】令和元年5月4日（土）

【場所】木古内町サラキ岬 【主催】木古内町観光協会他 【参加人数】30名

■どうなん追分シーニックdeナイト3町連携 【日時】令和元年12月22日（日）

【場所】道の駅あっさぶ・福島町横綱記念館前（道の駅横綱の里ふくしま）・道の駅みそぎの郷きこない

【参加人数】計130名（主催者20名 一般参加110名）

■木古内町みそぎキャンドル【日時】令和元年1月14日（火）【場所】佐女川神社・木古内駅前

【主催】木古内町観光協会他 【参加人数】300名（主催者40名 一般参加260名）



木古内チューリップフェア
どうなん追分シーニックdeナイト



3町連携シーニックdeナイト
（福島町）



木古内みそぎキャンドル

どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなんフットパスロード・歴史の道掘り起しプロジェクト
殿様街道探訪ウォーク

- 【概要】 継続事業として第27回春・第28回秋の殿様街道探訪ウォークを開催。毎回テーマや松前神楽の演目を変えているためリピーターも多い。また、昼食の千軒十割そばはここでしか味わえない一品。今年度は没後200年となる伊能忠敬の像を建立した北海道測量開始記念公園が福島町にでき一層力をいれていきたい事業のひとつ。
- 【日時】 春：令和元年5月3日（金・祝） 秋：令和元年10月20日（日）
- 【場所】 福島町千軒岳
- 【主催】 福島町千軒地域活性化実行委員会・福島町観光協会
- 【参加人数】 春：110名（主催者50名、一般参加60名）
秋：86名（主催者50名、一般参加36名）



殿様街道探訪ウォーク 春



殿様街道探訪ウォーク 秋



松前神楽奏上（毎回演目別）

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route 活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト・歴史の道掘り起しプロジェクト
おもてなしガイドプロジェクト どうなんサイクルツーリズム推進事業

- 【概要】 2018年に引き続き今年度も北海道観光振興機構から広域観光推進事業予算の支援を受け、当ルートが主体となる歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会により、①サイクリングツアー②ガイド認定講座③ガイド養成勉強会④先進地視察⑤外国語対応パンフ・HP作成⑥プロモーションセールスコール⑦関係事業支援⑧検討会の7つの項目について実施開催をした。そのほかにコース試走や商品化されたツアーによる実践のサイクルガイド等も今年度行った。
- 【日時】 ①10/2～5②6/15～16③12/26④10/6・11/16～18・1/10～13 ⑤3月完成⑥期間中⑦7/13～8/4他10件の参加⑧6/3・8/9・2/28（中止）
- 【場所】 ①木古内・知内・福島・松前・上ノ国・江差②江差一円③函館④青森・しまなみ海道（愛媛）・台湾（台北）⑦南北海道地域 ⑧函館
- 【参加人数】 ①全17名（ツアー6名）②7名③15名④青森3名・しまなみ1名・台湾5名⑦1～5名ガイド参加（ツアー24名）⑧第一回検討会 23名・第一回幹事会 9名



サイクリングツアー開催



ガイド認定講座開催



パンフレット 日本語・英語版



どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route 活動名：おもてなしガイドプロジェクト、どうなんフットパスロードプロジェクト
歴史の道掘り起しプロジェクト、どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概要】今年度は2回の学習会の開催。総会時と全体会議の日程に合わせて会議後に行った。昨年度、各ヒアリング等でガイドの重要性をルート全体、各町が声を上げていたことで第19回は「おもてなしガイド」について実践的なお話を松前のカリスマガイドから伺った。第20回については来年度から本格化する「秀逸な道」の取組についてルート全体で把握することを目的として、支笏洞爺二セコルートの実例を講演してもらいながらこのルートで何ができるかを議論した。

■第19回学習会 おもてなしガイド （令和元年度ルート定期総会 終了後開催）

【日時】令和元年6月7日（金） 【場所】松前町ふれあい交流センター 【参加者】24名

【講師】松前観光協会ガイドアドバイザー 飯田幸仁氏

■第20回学習会 秀逸な道について （令和元年度第一回行政連絡会議・全体会議 終了後開催）

【日時】令和元年11月27日（水） 【場所】福島町吉岡総合センターなごめーる 【参加者】23名

【講師】函館開発建設部 筒井調査官・ルートコーディネーター 佐藤好子氏

支笏洞爺二セコルートの取組（2017バスプロ最優秀賞）中村幸治氏



おもてなしガイド学習会



秀逸な道学習会



支笏洞爺二セコルートの取組

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：情報共有・情報受発信
どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概要】 情報発信の重要性が高まる中で今年度ホームページを更新。FaceBook等SNSを活用した情報発信を行っている。また、どうなんサイクル事業の中でも「チャリ旅みなみ北海道」でホームページを作成し、今年度は英語版も掲載した。

【どうなん・追分シーニックバイウェイルートホームページ】

<https://www.donan-oiwake-sbw.com/>

【どうなん・追分シーニックバイウェイルートFaceBook】

<https://www.facebook.com/どうなん追分シーニックバイウェイルート-269335286603575/>

【チャリ旅みなみ北海道 ホームページ&FaceBook】

<https://cycletourism-southhokkaido.org/> <https://cycletourism-southhokkaido.org/en/>

<https://www.facebook.com/cycletourism.southhokkaido/>



どうなん追分SBW HP



どうなん追分SBW FaceBook



チャリ旅みなみ北海道 HP英語版・FB

どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：教育体験観光呼び込みプロジェクト
ビューポイントパワーアッププロジェクト・いにしえ街道のとりくみ他

【概要】江差町いにしえ街道では景観と文化を活かした「花嫁行列」や「江差北前のひな語り」等体験型観光・イベントづくりを行っている。多様な試みを行っている中、着物を着付けて街歩きや職人技術を活かした木工体験等、街の個性を活かしたとりくみの広がりを見せている。また、福島町千軒そば花観賞会についても芋掘り体験などができ、今年度国の重要無形文化財指定となった松前神楽をそば花畑で観賞でき年々人気が増している。

■江差いにしえ街道花嫁行列【日時】令和元年5月3日（金・祝）【場所】江差いにしえ街道

【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】1000名（主催者70名、一般参加930名）

■江差北前のひな語り【日時】令和2年2月8日～3月15日【場所】江差いにしえ街道・江差一円

【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】600名（主催者50名、一般参加550名）

■千軒そば花観賞会 【日時】令和元年8月25日（日） 【場所】福島町千軒

【主催】福島町千軒地域活性化実行委員会 【参加人数】350名（主催者50名、一般参加300名）



江差いにしえ街道花嫁行列



江差北前のひな語り



千軒そば花観賞会

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり・各地イベントの連携
おもてなしガイドプロジェクト・どうなんの食北のどんぶりプロジェクト

【概要】ルートでは各地のイベントとの連携を図ってきた、その中で特に昨年に引き続き、江差町のいにしえ街道を中心にバル街を開催。また、木古内町の寒中みそぎ祭りでシーニックバイウェイのパネル展を開催。いずれもルートとして支援・協力し宣伝効果もあった。

■江差町いにしえバル街

【日時】令和元年6月22日（土） 【場所】江差町一円

【主催】江差いにしえバル街実行委員会 【参加者】450名

■木古内町寒中みそぎ祭りシーニックパネル展示

【日時】令和元年1月14日（火）～15日（水） 【場所】みそぎ広場

【主催】函館開発建設部 【参加人数】300名（主催者40名 一般参加260名）



江差町いにしえバル街



江差町いにしえバル街開会式



みそぎ祭りSBWパネル展

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：おもてなしガイドプロジェクト
どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概要】 今年度、サイクルツーリズム事業を中心にインバウンド観光視察の対応について、ルートで3回、欧州スイス・アメリカ・台湾とバラエティーなところからの視察が続いたことから情報共有を図り、スキルアップを進めた。

■ スイスモビリティ財団 ルーカス氏視察

【日時】 令和元年8月30日（金）～9月2日（月） 【場所】 江差・上ノ国・松前・福島・知内・木古内

【主催】 北海道モビリティ研究会 【視察】 1名 【スタッフ】 4名 【ルート参加者】 24名

■ 米国コロラド州 シーニック関係者視察

【日時】 令和元年9月16日（月）～19日（木） 【場所】 函館・江差・上ノ国・松前

【主催】 シーニックバイウェイ支援センター 【視察】 2名 【スタッフ】 3名 【ルート参加者】 27名

■ 台湾招聘サイクルツアー 台湾経済界・観光メディア関係者視察

【日時】 令和元年10月2日（水）～5日（土） 【場所】 木古内・知内・福島・松前・上ノ国・江差

【主催】 歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会 【視察】 6名 【スタッフ】 11名



スイスモビリティ財団視察



米国コロラド州SBW視察



台湾招聘サイクルツアー

どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：新しい取組：日本風景街道との連携
どうなん・追分シーニックバイウェイルート全体

【概要】 2018年度に宮崎大学での日本風景会議大学に参加したことをきっかけに宮崎日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会との連携で道の駅酒谷と道の駅北前船松前と特産品を販売し合う事例、9月に宮崎からの視察があり、2019年度も日本風景街道との関わりが深い年度となった。継続的な連携をルートとして推進したい。

■米国コロラド州 シーニック関係者の視察

【日時】 令和元年9月16日（月）～19日（木） 【場所】 函館・江差・上ノ国・松前

【主催】 シーニックバイウェイ支援センター 【視察】 2名 【スタッフ】 3名 【ルート参加者】 27名

■日本風景街道大学宮崎校参加 （3日目エクスカースションは不参加）

【日時】 令和2年1月10日（金）～12日（日） 【場所】 宮崎大学ほか 【参加】 1名（佐藤会長）

【主催】 日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会・日本風景街道コミュニティ

■秋田県のしろ市民まちづくりフォーラム参加

【期間】 令和2年2月18日（火）～19日（水） 【場所】 能代市旧料亭金勇

【主催】 のしろ白神ネットワーク事務局 【参加】 3名（講演：道の駅北前船松前長谷川駅長）



米国コロラド州視察・江差町



日本風景街道大学宮崎校参加



のしろ市民まちづくりフォーラム

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：サイクリングガイド養成講習会in名寄市

- 【概要】 地域内へ訪れるサイクリング旅行者へ、適切な案内及び地域の魅力を伝えるための地域内でのサイクリングガイド有資格者の育成を目的に、日本サイクルツーリズム推進協会（JCTA）の講師によるサイクリングガイド養成講座を開催し、サイクリングガイドのスキルアップを図った。JCTA認定に加え、スイスやカナダ、スペイン、イタリアとも連携しているイギリスのCycling UKのガイド資格も同時取得できるグローバルな資格となり、参加者は道北だけでなく、富良野や釧路、札幌から9名の参加があった。資格取得後は、ルートのサイクリングイベント等の地域サポートライダーとして協力いただくことも目的としており、取得者のうち、きた北海道エコ・モビリティ（TEPPEN-RIDE）のサイクリング担当のガイド・サポーターとして5名が参加した。
- 【日時】 2019年6月19日（水）・20日（木）の2日間
- 【場所】 名寄市：座学＞駅前交流プラザ「よろーな」会議室
実技＞名寄市内周遊コース（一人3km×9名）
- 【主催】 天塩川シーニックバイウェイ 【人数】 受講者 9名、講師 1名



▲ツアーやイベントに際して、どのような準備を行い、運営していくのか、リスクを低減しアクシデントや事故を未然に防ぐにはどうするのか、起こった場合にどのように対処していくのかなど、座学と屋外での実践にて学んだ。



▲実技試験でのコース途中集合写真。受講者全員、サイクリングツアーガイド資格を取得した。

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：情報発信の強化（PRイベントの実施）
（きた北海道エコ・モビリティ事業の推進）

【概要】シーニックバイウェイの周知徹底と活動内容のPRのため、札幌駅地下歩行空間で開催される「夏のJPO1まつり in ち・力・ホ」にブースを設け、地域の特徴と魅力についてPRを行った。全地域の取り組み概要などのパンフレットの配布と、ルートの主たる活動である宗谷シーニックバイウェイとの連携事業「TEPPEN-RIDE」を中心にPRを行った。★道北観光連盟による特産品販売・PRとあわせた実施

【日時】2019年8月2日（金）

【場所】札幌駅前地下歩行空間「ち・力・ホ」

【ブース主催】天塩川シーニックバイウェイ

【会場全体主催】総合商研

【参加団体数】名寄市・士別市・下川町・和寒町＜当日スタッフ：20名程度＞



▲きた北海道エコ・モビリティの取り組み紹介と「TEPPEN-RIDE2019」の参加者募集も行った。会場共通のモニターを活用し、道北地域のプロモーション動画を投影し、当エリア全体のPRを行った。



▲用意した商品は完売し好評であった。道北観光連盟のPRブースでは、各自治体のPRパンフレットを配布

天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：R3プロモーション動画の作成～道と川と鉄道を繋ぐ旅
(きた北海道エコ・モビリティ事業の推進)

【概要】道（Road＝自転車・歩く）と川（River＝カヌー）と鉄道（Rail＝JR宗谷本線に乗車、駅弁）が並行する地域の地域性を活かし、3つのRを繋ぎ、美しい景観を見て＆自然に触れて遊び＆美味しいものを味わいながら、日本のてっぺんを目指す「R3の旅」を推奨するためのプロモーション動画を作成した。宗谷シーニックバイウェイとの広域連携「きた北海道エコ・モビリティ」の事業の一環とし、今後はエリア内全体に動画を広めていけるよう、効果的な活用方法の検討をすすめる。20～30代の女子旅をテーマとし、インスタグラマーなるモデルに依頼し、それぞれのInstagramなどでも、撮影の様子や地域の情報をアップしてもらい、PR効果を促した。

【実施】2019年10月上旬（撮影）～3月完成

【場所】1日目：旭川市～名寄市、2日目：名寄市～中川町、3日目：中川町～稚内市

【主催】きた北海道エコ・モビリティ（天塩川SBW／宗谷SBW／SBW支援センター）



▲作成した動画の一画面（動画は約5分）

▲食・観光・アクティビティ（自転車、カヌー等）の体験をしながらのPR動画の撮影を行いながら、自分達も撮影しInstagramに投稿。

▲投稿されたInstagramでは、主に動画での公開。